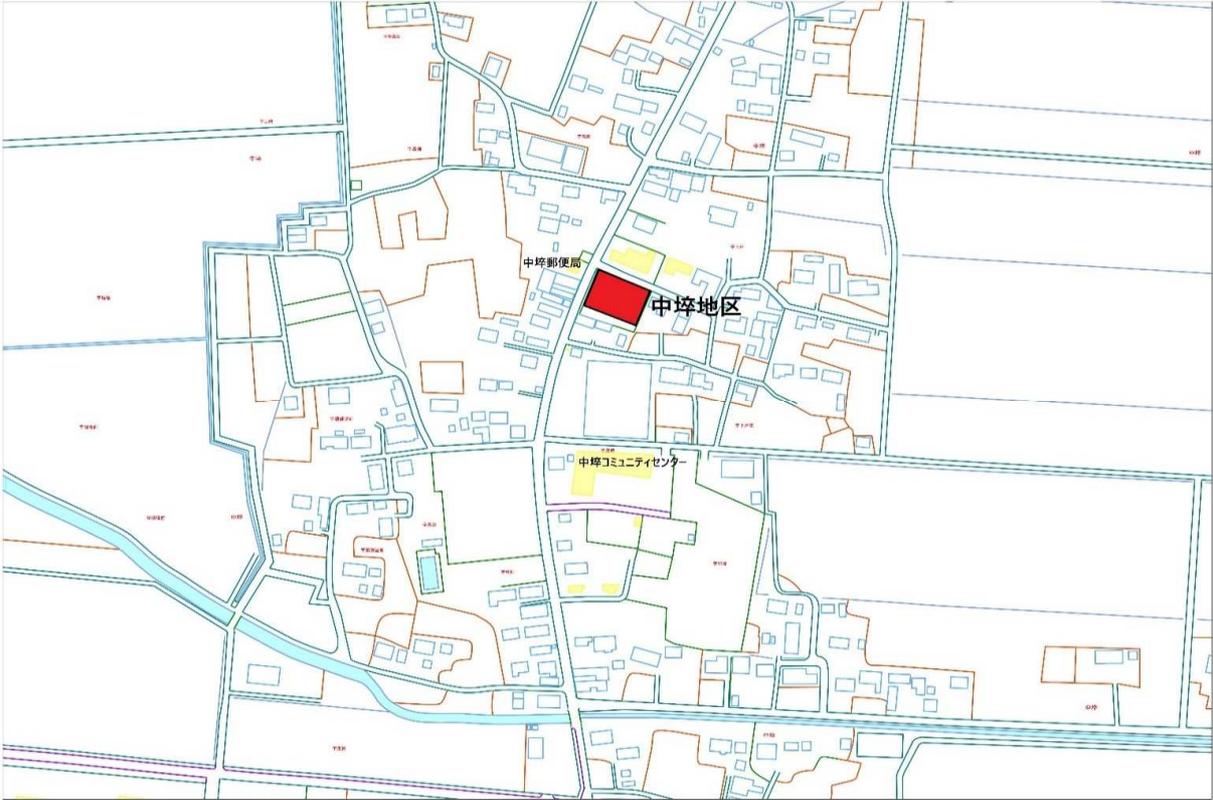


【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-4-2
事業名	災害公営住宅整備事業（中埜地区）
事業費	総額85,012千円 (内訳：調査・設計費5,592千円、工事費79,420千円)
計画期間	平成24年度～平成25年度
事業目的	<p>事業地区：中埜地区</p> <p>東日本大震災により、半壊以上の家屋被害（半壊・大規模半壊については、やむを得なく解体する場合）を受けた被災者のうち、経済的理由等により自力による住宅の復興などの生活再建が困難な世帯に対して、被災者の早期生活再建を促し、生活の安定を図るため災害公営住宅の整備を行ったもの。</p> <p>整備戸数 6戸</p>
D-4-2災害公営住宅整備事業（中埜地区位置図）	
	
事業結果	<p>事業地区：中埜地区（総計画用地面積 1,464.41㎡ 総計画戸数 木造 6戸）</p> <p>〈平成24年度〉 実施設計、建設工事 実施設計費 4,284千円、建設工事費 34,500千円</p> <p>〈平成25年度〉 建設工事、工事監理 建築工事費 44,920千円、工事監理費 1,308千円</p> <p>供用開始 平成25年10月より（令和3年3月現在 6戸入居）</p>

工事完成前



完成後



事業の実績に関する評価

①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

・中埜地区災害公営住宅は、平成25年9月に完成し、令和3年3月現在で6戸が入居している。建設計画戸数6戸全てを満たしていることから事業が適正に執行されていると判断される。

・多様な世帯構成や生活ニーズへの対応が必要であり、今後も新しい地域コミュニティや高齢者等へ配慮し、安定した生活の確立を支援する。

②コストに関する調査・分析・評価

・事業費の設計・積算は公共建築工事標準単価積算基準等により実施し、美里町財務規則等に基づき入札を行い業者を選定していることから妥当な事業費と判断できる。

③事業手法に関する調査・分析・評価

中埜地区における災害公営住宅整備事業は以下のとおり、概ね予定どおり事業を進めることができた。

〈想定した事業期間〉

実施設計 平成24年10月～平成24年11月

建設工事 平成25年1月～平成25年9月

〈実際の事業期間〉

実施設計 平成24年9月～平成24年12月

建設工事 平成25年2月～平成25年9月

中埜地区住宅においては、工事請負者と密に調整を行うことで、円滑に工事を進捗させ当初の予定期間どおりに、工事を完了することができた。

事業担当部局

防災管財課町営住宅係 電話番号：0229-33-2142